

事務事業名		特用林産施設等体制整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業		
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 02 02 09		
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興						
	基本事業名	03 林業の振興						
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 23 年度～ 24 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入				
所属	部課名	農林水産部 農林課						
	係名	農政係	電話 27-3111 内線 7123					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 菌床しいたけは本市農業の基幹作物であるが、東日本大震災の津波により栽培ハウス11棟が流失すると共に地震による長期停電で24棟の栽培ハウスの菌床しいたけホダ玉が死滅する被害を受けた。 菌床しいたけ生産農家の経営再開を支援するため、国庫補助事業を活用して被害を受けた菌床しいたけホダ玉の再調達にかかる費用の一部を補助する。 (手順) 事業主体より事業計画・交付申請書の受理⇒事業計画の審査・交付決定⇒事業遂行の指導・監督⇒事業(工事)完了検査⇒補助金交付 県に対する事業計画・交付申請書の提出⇒県との交付契約⇒県に対する補助金交付請求右県に対する各種報告書類提出				全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
				総投入量 (千円)	事業費		国庫支出金	
					財源内訳		都道府県支出金	43,121
							地方債	
							その他	
							一般財源	12,077
							事業費計(A)	55,198
				人件費		正規職員従事人数	1	
						延べ業務時間	450	
						人件費計(B)	1,800	
						トータルコスト(A)+(B)	56,998	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 事業計画(当初)の対象生産者数 経営体	
被災した13経営体のホダ玉再調達に対する事業計画を受理・審査及び交付決定 県に対する補助金交付申請 事業の平成24年度繰越手続き		イ 事業計画(当初)の導入ホダ玉数 玉	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ 補助金交付金額 千円	
平成23年度繰越事業の完了検査・補助金交付 被災した3経営体のホダ玉再調達に対する事業計画を受理・審査及び交付決定・交付 県に対する事業計画承認申請・補助金交付申請・交付請求		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称 単位	
菌床しいたけ生産者		カ 菌床しいたけ生産者 経営体	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ 菌床しいたけ生産量 トン	
菌床しいたけ生産者を増加させる		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
菌床しいたけの生産量を増加させることにより農家所得が増加し、農業経営の安定化が図られる。		名称 単位	
		サ 菌床しいたけ生産量 トン	
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		43,121				
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		12,077				
	事業費計(A)		千円	0	55,198	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1				
		延べ業務時間	時間	200	250				
		人件費計(B)	千円	800	1,000	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	800	56,198	0	0	0
⑤ 活動指標		単位							
		ア 経営体	13	3					
		イ 玉	379,840	37,800					
		ウ 千円	0	55,198					
⑥ 対象指標		単位							
		カ 経営体	11	12					
		キ トン	185	143					
⑦ 成果指標		単位							
		サ トン	185	143					
		シ							
		ス							

事務事業ID	1547	事務事業名	特用林産施設等体制整備事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波及び地震で当市の基幹農作物である菌床しいたけのホダ玉が流失・死滅し壊滅的な被害を受け、国の平成23年度第3次補正で、被災した菌床しいたけホダ玉の再調達を支援する事業が創設された。この間、菌床しいたけ生産者及び大船渡市農業協同組合より被災したホダ玉の再調達に対する支援を強く求められていたことから、この事業を実施することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	菌床しいたけ生産者は栽培ハウスの冷暖房にかかる燃料コストの高騰などにより経営が圧迫されており、リタイアによる生産者数の減少が懸念される。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特に意見なし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 被災した菌床しいたけ生産者の経営再開を支援することは、当市の農業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 県の要綱・要領により、国・県からの補助金を市を経由して事業主体に交付することが定められている。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 国の要綱・要領で対象・目的が定められており、見直しの余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 事業の要望量は、被災したホダ玉量が上限となるため、事業により導入できるホダ玉数は被災数量に限られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 被災した菌床しいたけホダ玉の再調達の支援を廃止することにより、経営再開が困難となり菌床しいたけ生産者が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 被災した菌床しいたけホダ玉の再調達を支援する事業は他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 導入する菌床しいたけのホダ玉の種類を見直すことにより事業費を削減することができた。(生産量を下げずにより単価の安いホダ玉)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最低限の人員及び業務時間で事務処理しているため、削減の余地はない。また、正職員以外の職員に事務処理をさせることはできない業務である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の受益者や受益者の負担は、国・県の要綱・要領等で定められているもので実施していることから、見直しの余地はなく適正である。

事務事業ID	1547	事務事業名	特用林産施設等体制整備事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	一部、被災生産者が経営再開を断念したこと等により、菌床しいたけホダ玉の導入が当初計画より少ない実績となった。 事業主体である市農協が、導入するホダ玉を見直したことにより事業費の低減が図られた。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度で被災した菌床しいたけホダ玉の再導入が完了したことから、平成25年度以降の事業実施はない。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事務執行なされている。																					
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度で事業完了。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
